

令和7年度 松江歴史館 博物館実習実施要項

- 1 目的 博物館学芸員を志す者を当館に受け入れ、業務に関わる実習を通して、歴史系博物館の職務を指導し、博物館学芸員の育成を行う。
- 2 実習期間 令和7年(2025)8月18日(月)～22日(金)の5日間
- 3 時間 午前10時～午後5時
- 4 実施場所 松江歴史館(島根県松江市殿町279番地)
- 5 受け入れ人数 2人程度
- 6 対象 下記の条件を満たす者。
 - (1) 学芸員(含学芸員補)の資格取得に意欲があり、博物館への就職を希望する者。
 - (2) 大学・大学院からの正式な博物館実習申込書が提出できること。
 - (3) 当館が指定した全日程に出席できること。
- 7 申込方法 提出書類を松江歴史館(博物館実習担当)へ持参または送付。
- 8 提出書類
 - ① 博物館実習申込書(書式1-1) —大学記入(申請時)
 - ② 博物館実習希望者調査票(書式1-2、1-3) —実習生記入(申請時)
 - ③ 博物館実習に関する覚書(書式2-1) —大学作成(受入決定後提出)
 - ④ 誓約書(書式2-2) —実習生記入(受入決定後提出)
- 9 書類提出期限 令和7年6月6日(金)必着
- 10 その他
 - (1) 実習中の事故等が生じた場合、その責は本人及び所属大学が負うものとします(「賠償責任保険」「傷害保険」への加入)。
 - (2) 実習教材費として実費を徴収することがありますが、これ以外(謝礼含む)の費用負担はありません。
 - (3) 実習期間中、実習生として不適切な行動(遅刻、無断欠席、服装や実習態度の不良など)があった場合、実習を取り消すことがあります。
 - (4) 実習終了後、当館では、実習終了の認定および簡単な成績評価のみを行います。
 - (5) 松江歴史館には実習生用の駐車場はありません(駐輪場はあります)。各自で交通手段を確保してください。実習に伴う交通費の支給はありません。
 - (6) 昼食は決められた時間に各自でとってください。持参した弁当などを食べる事が出来る場所は提供します。なお、松江歴史館周辺は食事が出来る場所は少ないのでご注意ください。
 - (7) 感染症等の影響により、実施の可否や日程の変更、実習参加に条件を付す可能性があります。
- 11 申し込み先 松江歴史館 担当:学芸係 新庄
〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
Tel 0852-32-1607 FAX 0852-32-1611 E-mail rekishi@city.matsue.lg.jp

博物館実習応募者選考基準

応募条件を満たしている応募者のなかから、以下の基準に従い実習生を決定する。

- 1、地元出身者を優先する。
- 2、次に地元の学校を優先する。優先順位は市内、県内、山陰地区、中国地区、全国の順とする。
- 3、2の優先順位のうち、同一順位内の複数の学校から応募があった場合、以下の順で選考する。
 - (ア) 卒業後の希望職種が博物館学芸員である者を優先する。
 - (イ) 競合する各学校間の受入実習生の総数が均衡するようにする。
 - (ウ) 学年が高い者を優先する。

博物館実習申込書

年 月 日

(あて先) 松江歴史館

館長 松 浦 正 敬

機関 (大学) 名

代表者

印

下記により、実習生の受け入れを申し込みます。

記

1 実習生氏名

所属

学部

学科 (年生)

2 実習期間

日間

3 備考

博物館実習希望者調査票

年 月 日記入

ふりがな 氏 名	年齢	性別
現住所 〒		
電話 ()	携帯電話 ()	
E-mail		
実習時の住所		
・ 上記現住所に同じ		
・ 帰省先など		
〒		
電話 ()		
機関 (大学) 名		
学部・課程		
学科・専攻		
学年	(学籍番号)	
機関 (大学) 所在地		
〒		
実習担当部署		
担当者氏名		
電話 ()		
E-mail		

<p>研究（卒論・修論）テーマ</p>	
<p>研究（卒論・修論）で扱う資料や研究方法について</p>	
<p>学芸員資格を取得したい理由</p>	
<p>将来、どのような学芸員になり、どんな博物館運営を目ざしたいと考えるか</p>	
<p>これまで見学し、良かったと感じた博物館とその理由</p>	

博物館実習に関する覚書

松江歴史館館長（以下「甲」という。）と_____（以下「乙」という。）は、甲乙間で下記のとおり覚書を締結する。

記

1、実習条件等

- (1) 実習期間等は、別紙記載のとおりとする。
- (2) 万一、誓約書に違反する行為があった場合は、直ちに実習を中止することとする。
- (3) 通勤途中の事故、災害及び甲に過失のない実習中の事故、災害については、甲の責に帰さない。
- (4) 乙は実習生に対し、事前に第三者や本所に対して与える損害を補償する「賠償責任保険」、及び実習生の実習期間中の事故による損害を補償する「傷害保険」に加入させることとする。

2、協議

本覚書に定めがない事項、又は本覚書に疑義が生じた事項については、その都度、甲乙協議のうえ決定する。

本覚書の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名・押印のうえそれぞれ1通を保有するものとする。

年 月 日

甲 島根県松江市殿町 279 番地
松江歴史館
館長 松 浦 正 敬

乙

別紙（博物館実習に関する覚書）

実習学生		
実習期間		令和7年8月18日～22日
実習場所		松江歴史館（島根県松江市殿町279番地）
実習内容		研修及び補助業務
実習時間		午前10時～午後5時
実 習 条 件	実習手当	なし
	食事補助	なし
	通勤費補助	なし
	宿泊費補助	なし
	出庁・帰学旅費補助	なし
	医療施設利用	なし
	傷害保険等	
入 寮 条 件	寮への入居	なし
	寮費	なし
	寮での食費	なし
	寮での光熱費	なし
	寝具	なし
その他		なし

誓 約 書

年 月 日

松江歴史館

館長 松 浦 正 敬

学校名 _____

氏名 _____ 印

今般、私が貴所において実習するにあたっては、下記の事項を厳守することを誓います。

記

1. 実習期間中は、本稿の指導要領及び指導を遵守し、貴所の指示に従う。
2. 実習に際しては、次の事項を遵守する。
 - ① 貴所の名誉を毀損するような言動は行わない。
 - ② 貴所の営む事業を阻害するような言動は行わない。
 - ③ 実習上知り得た貴所の機密に属するものは、一切漏洩しない。
3. 故意又は過失により、貴所に対し損害を及ぼした時には直ちに弁償する。
4. 通勤途中及び実習中の貴所の責に帰さない事故、災害については、貴所に迷惑をかけることなく自己の責任において処理する。
5. 実習に先立ち、第三者や貴所に対して与える損害を補償する「賠償責任保険」、実習期間中の事故による損害を補償する「傷害保険」等の保険に加入する。

実習応募手続きの流れ

- 1、松江市（松江歴史館） ①～⑥の公開
 - ①「令和7年度松江歴史館博物館実習実施要項」
 - ②「博物館実習応募者選考基準」
 - ③「博物館実習申込書」（書式 1-1）
 - ④「博物館実習希望者調査票」（書式 1-2、1-3）
 - ⑤「博物館実習に関する覚書」（書式 2-1）
 - ⑥「誓約書」（書式 2-2）

- 2、応募大学・学生 書類③④の提出

- 3、松江市（松江歴史館） 「実習生の受入決定について」の送付

- 4、応募大学・学生 書類⑤⑥の提出

- 5、松江市（松江歴史館） 博物館実習（8月）

- 6、松江市（松江歴史館） 実習終了の認定および簡単な成績評価を行い大学へ送付